

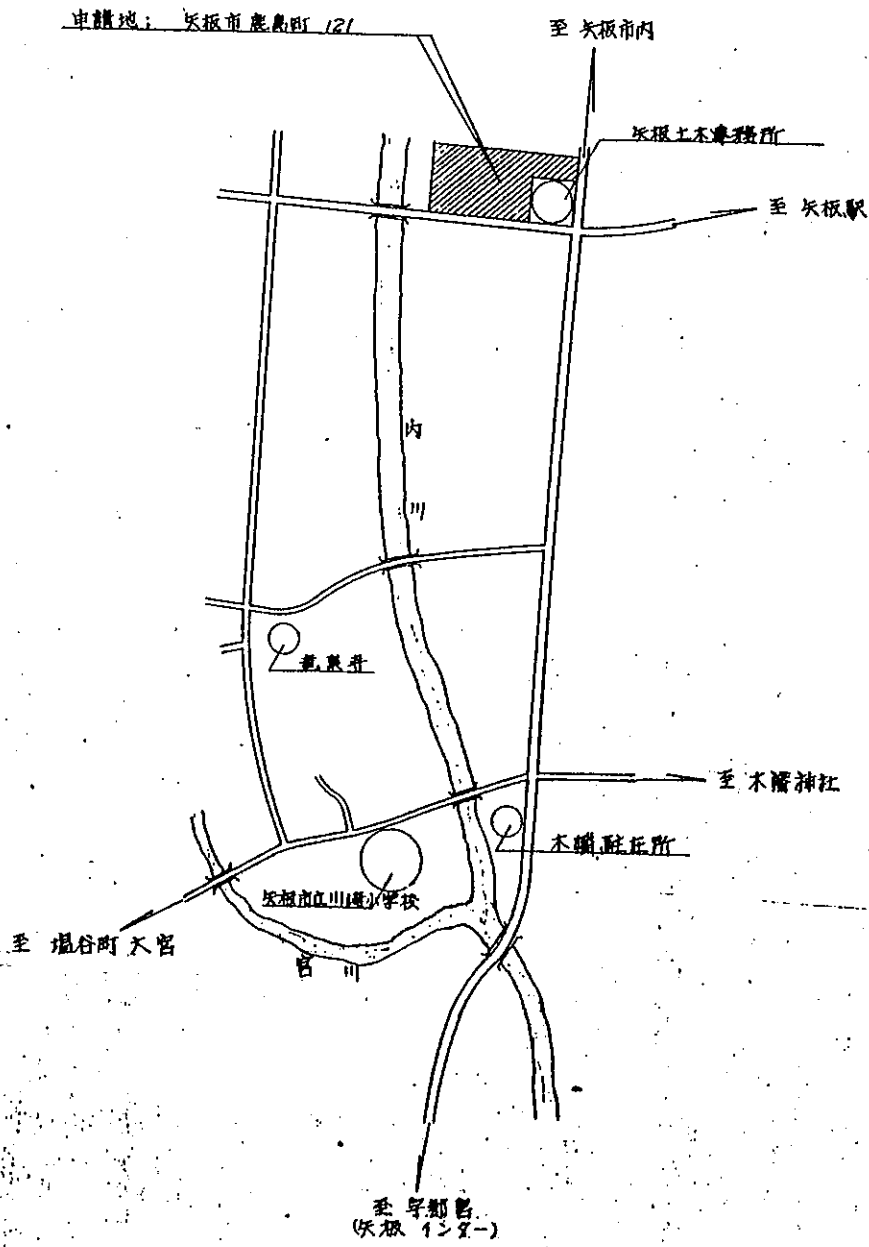
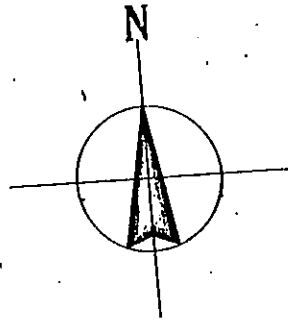
ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

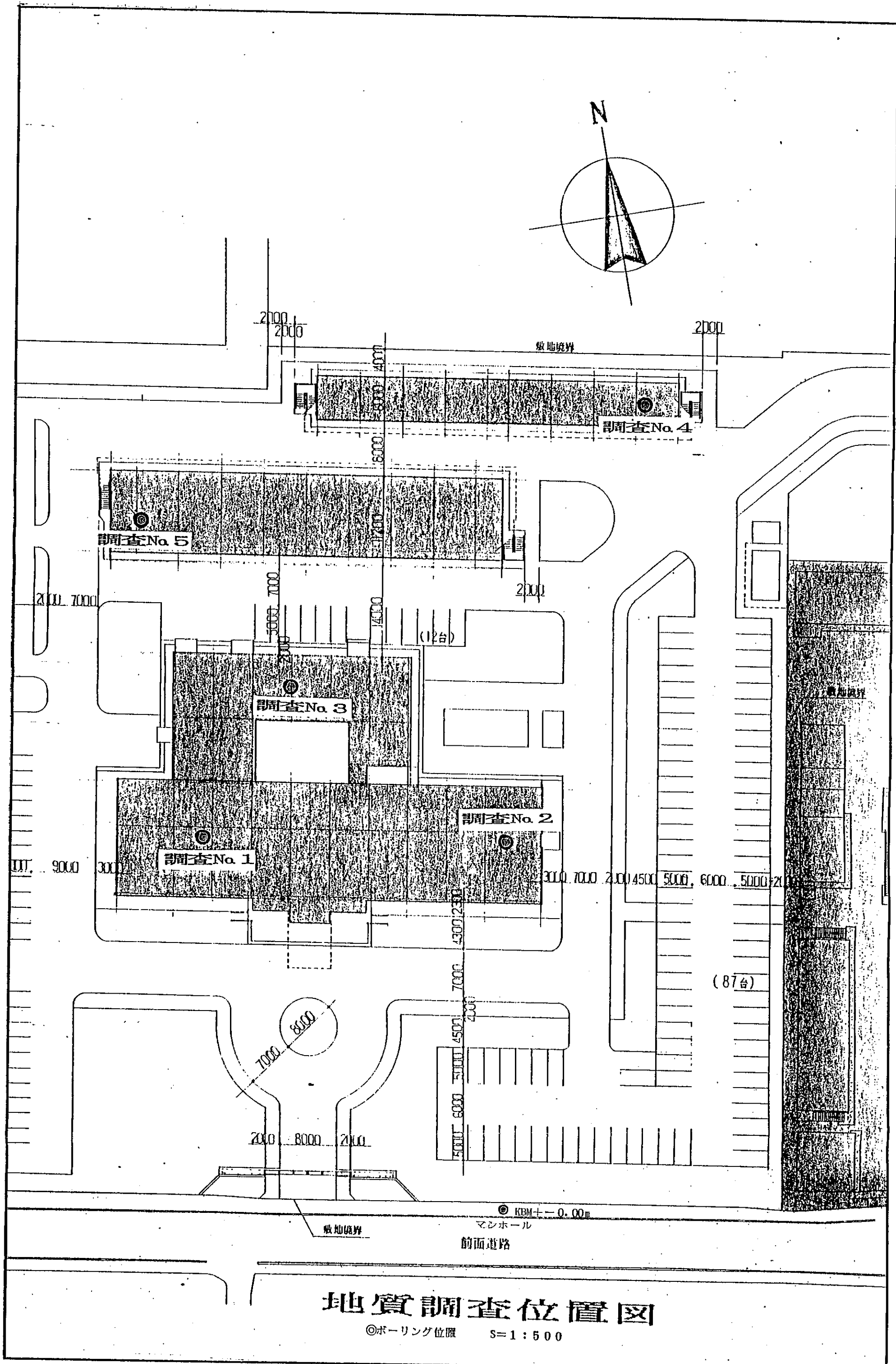
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課



案内図



地質調査位置図

◎ボーリング位置 S=1:500

柱状 - B A S E

第 1 図 土質柱状図

備考

調査名 塩谷庁舎その他新築工事地質調査 ボーリング方法 ロータリー 式

調査位置 塩谷郡矢板市鹿島町121

地点番号 No. 1 標高 -0.663 m 調査年月日 62年 3月 0日 ~ 月 日

孔内水位 GL-2.50 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験										
									深度 (m)	N 値 回	10cm毎の 打撃回数			(N 値)					
											10 cm	20 cm	30 cm	10	20	30	40	50	
1	-1.16	0.50	0.50	△		表土	暗褐色	粘土質ローム φ30mm位多い φ100mm位の礫を混入する	1.15	45	11	14	20						
2				○				2.00m付近暗茶褐色礫 径20mm~40mm多く 80mm位を混入する	1.45	30	10	10	10						
3				○				3.95m~4.30m間小 礫混じり火山灰質粘土 を挟む	2.15	37	10	13	14						
4				○				4.30mからφ10mm~ 20mmの礫多い	2.45	30	10	10	10						
5				○					3.15	28	6	10	12						
6	-6.26	5.60	5.10	△		砂 礫	暗褐色	全体的に凝灰質を呈す 5.60m~7.80m間砂を 混じり青灰色	3.45	30	10	10	10						
7				△				10.00m付近粘性多い 、白色粘土斑点状に混 じる	4.15	4	2	1	1						
8				△				12.00m付近白色粘土 帯状に3cm位挟む	4.45	30	10	10	10						
9				△				10mm位の礫混入	5.15	35	6	15	14						
10				△				12.65mから固結質と り茶褐色を呈し有機物 混入する	5.45	30	10	10	10						
11				△				14.00m付近暗褐色で 若干砂質を呈す	6.15	27	4	8	15						
12				△				14.40mから固結度を 増し黄褐色	6.45	30	10	10	10						
13				△					7.15	22	4	7	11						
14				△					7.45	30	10	10	10						
15	-15.76	15.10	9.50	△		火山灰粘土	淡黄灰色		8.15	28	6	10	12						
16				○				全体的に凝灰質を呈す 礫φ30mm~50mm多 くφ100mm程度の礫 の混入ある	8.45	30	10	10	10						
17				○					9.15	25	5	8	12						
18				○					9.45	30	10	10	10						
19	-20.01	19.35	4.25	○		砂 礫	茶褐色		10.15	16	3	5	8						
20				○					10.45	30	10	10	10						
				○					11.15	21	3	7	11						
				○					11.45	30	10	10	10						
				○					12.15	31	7	10	14						
				○					12.45	30	10	10	10						
				○					13.15	34	8	11	15						
				○					13.45	30	10	10	10						
				○					14.15	40	7	13	20						
				○					14.45	30	10	10	10						
				○					15.15	50	50								
				○					15.21	6	6								
				○					16.15	50	50								
				○					16.22	7	7								
				○					17.15	50	40	10							
				○					17.28	13	10	3							
				○					18.15	50	50								
				○					18.25	10	10								
				○					19.15	50	22	28							
				○					19.35	20	10	10							

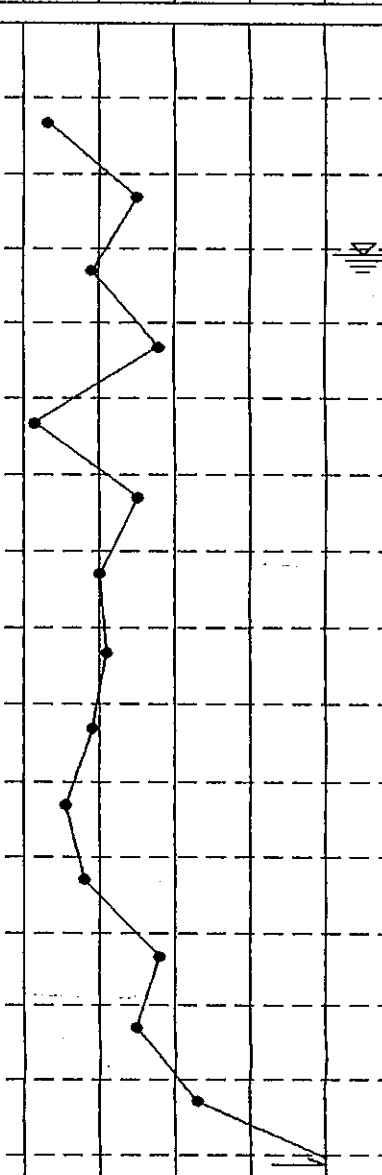
柱状 - B A S E

第 1 図 土質柱状図

備考

調査名 塩谷庁舎その他新築工事地質調査 ボーリング方法 ロータリー 式
 調査位置 塩谷郡矢板市鹿島町121
 地点番号 No. 2 標高 +0.423 m 調査年月日 62年 3月 0日 ~ 月 日
 孔内水位 GL-3.08 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験										
									深度 (m)	N 値 回	10 cm 毎の 打撃回数			(N 値)					
									10	20	30	40	50						
1	-0.38	0.80	0.80	△		盛土	黒褐色	砂礫、	1.15	14	8	3	3						
	-0.98	1.40	0.40	○		表土	暗褐色	所々細礫混入	1.47	32	11	9	12						
2	-1.43	1.85	0.45	○		砂礫	青灰色	植物の根混入	2.15	25	8	8	9						
				○				φ5mm~40mm程度	2.45	30	10	10	10						
3				○		ローム質粘土	暗褐色	の礫混入多い	3.15	19	7	6	6						
				○				φ80mm位の礫含む	3.45	30	11	9	10						
4				○				全体に礫混入	4.15	28	8	11	9						
				○				粘性強い	4.45	30	10	10	10						
5				○				全体にφ5mm~40mm	5.15	13	7	4	2						
				○				m位の礫混入目立つ	5.49	34	11	9	14						
6	-6.03	6.45	4.60	○		砂礫	茶褐色	所々にφ80mm~100	6.15	26	11	7	8						
				○				mm位の礫混入ある	6.46	31	11	9	11						
7				△				3.00m付近から含水多	7.15	20	5	7	8						
				△				くなる	7.45	30	10	10	10						
8				△				5.45m~5.70mシルト	8.15	21	5	7	9						
				△				質中砂挟む	8.45	30	10	10	10						
9				△				全体に小礫混入ある	9.15	19	6	7	6						
				△				9.70m付近から粘性強	9.45	30	10	10	10						
10				△				くなる	10.15	16	5	5	6						
				△				11.85m付近固結質12.	10.46	31	11	10	10						
11				△				70m付近から全体に砂	11.15	18	5	6	7						
				△				質となる	11.45	30	11	9	10						
12				△				13.40m付近から灰褐	12.15	28	7	11	10						
				△				色となる	12.45	30	10	10	10						
13				△				13.70m付近から茶褐	13.15	25	6	9	10						
				△				色で固結質を呈す	13.45	30	10	10	10						
14				△				有機物混入	14.15	33	5	8	20						
				△					14.45	30	11	9	10						
15	-14.08	14.50	8.05	△		火山灰質粘土	灰青色		15.10	50	50								
				△					15.15	5	5								
16				○					16.05	50	50								
				○					16.11	6	6								
17				○					17.05	50	50								
				○					17.13	8	8								
18				○					18.05	50	39	11							
				○					18.18	13	10	3							
19	-18.76	19.18	4.68	○		砂礫	茶褐色	φ5mm~50mm位の	19.05	50	23	27							
				○				礫多い	19.18	13	10	3							
20																			



柱状-BASE

第1図 土質柱状図

備考

調査名 塩谷庁舎その他新築工事地質調査 ボーリング方法 ロータリー式
 調査位置 塩谷郡矢板市鹿島町121
 地点番号 No. 4 標高 +0.449 m 調査年月日 62年 3月 0日~ 月 日
 孔内水位 GL-3.00 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験											
									深度 (m)	N 値回	10cm毎の打撃回数 10 20 30 cm			(N 値) 10 20 30 40 50						
1	-0.30	0.75	0.75	X		盛土	黒褐色	砂礫、ローム等												
2	-1.15	1.60	0.85	X		表土	黒褐色	所々細礫混入 植物の根混入	1.15	7	2	3	2							
3				○●				φ5mm~40mm程度 の礫混入多い φ80mm位の礫含む 3.00m付近から含水あ る	1.45	30	10	12	8							
4				○●				所々砂多い所ある	2.15	18	7	6	5							
5	-3.95	4.40	2.80	○●		砂礫	褐灰色		2.46	31	10	10	11							
6				△				所により礫混入ある 上部全体に砂質を呈す 7.00m付近から全体に 粘性に富む	3.15	14	4	5	5							
7				△				10.05m付近から紫褐 色	3.45	30	11	9	10							
8				△				12.30m付近から褐灰 色	4.15	29	12	10	7							
9				△					4.46	31	10	10	11							
10				△					5.15	25	8	8	9							
11				△					5.45	30	10	10	10							
12				△					6.15	29	9	9	11							
13				△					6.45	30	10	10	10							
14				△					7.15	18	5	6	7							
15	-14.55	15.00	10.60	△		火山灰質粘土	黄褐色		7.45	30	10	10	10							
16				○●				全体にφ5mm~40mm 位の礫混入目立つ 所々にφ80mm~100 mm位の礫混入ある	8.15	20	5	7	8							
17				○●					8.41	26	11	7	8							
18	-17.84	18.29	3.29	○●		砂礫	茶褐色		9.15	24	6	8	10							
19				○●					9.45	30	11	9	10							
20				○●					10.15	19	5	7	7							

